

VoiceXは なぜ選ばれるのか？

総務省認可 × 通信事業者 × 自社開発クラウドPBX



提供元

株式会社コムスクエア



認可

総務省届出電気通信事業者

VoiceXとは（概要）

会社電話のクラウド化と電話業務のDXを同時実現する次世代型クラウドPBX。

通信キャリアである株式会社コムスクエアが 自社開発・自社運用で提供しています。

スマホ/PC/既存電話機から代表番号で発着信 場所を問わず、拠点横断の内線化にも完全対応

✓ 業務に直結する機能を標準装備

IVR（自動音声応答）・全通話録音・着信振分け・通話ログなど

✓ 拡張・カスタマイズに強い柔軟性

段階的移行やテレワーク、将来的な規模拡大にもスムーズに対応



USE CASE

クラウドPBXの利用シーン



オフィス

固定電話機・PCソフトフォン



在宅勤務（テレワーク）

スマホアプリ・PC



外出先・サテライト

会社の番号で発着信



一元管理

代表番号・内線・通話制御をクラウドで統合

総務省認定事業者リストに正式記載

VoiceXの提供元である株式会社コムスクエアは、国が認めた正規の通信事業者です。

電気通信事業法に基づく届出済み 電気通信事業届出番号 A-07-01115



総務省「認定事業者リスト」掲載

「自らが電気通信番号の指定を受けて使用するとして認定を受けた事業者」として正式に登録されています（令和7年4月末時点）。

番号資源の保有・提供実績 事業者識別番号 0078 特定IP電話番号 050

公式エビデンス情報

OFFICIAL

SOURCE 01

総務省 認定事業者リスト

令和7年4月末時点のリストにて「株式会社コムスクエア」の掲載を確認。

SOURCE 02

コムスクエア公式サイト

会社概要および通信事業ページにて、0078/050番号の保有と提供を明記。

REFERENCE LINKS



総務省 認定事業者リスト.pdf



コムスクエア通信事業情報



番号資源を自社で保有することの希少性

総務省「番号使用認定」自社番号保有業者数

25社

令和7年4月末時点・自らが電気通信番号の指定を受けて使用するとして認定

制度的なハードル

厳格な制度要件と運用体制

番号資源（0AB～J/050/事業者識別番号等）を自社で扱うには、通信インフラの設計・運用能力や法令遵守体制が必須。

多くの事業者は「番号レンタル」

一般的なクラウドPBX販売事業者は番号を自社保有せず、通信キャリアからの番号提供に依存している。

提供形態の比較概念図

VoiceX (コムスクエア)



番号指定事業者

自社で番号を保有・発番

保有資源

0AB～J / 050 / 事業者識別



PBXと回線を一体運用 高品質

VS



番号非指定事業者

キャリアから番号提供を受ける

手続き

番号使用計画の認定



PBXは外部回線に依存

なぜ他社は番号を保有できないのか（制度・技術要件の高さ）

自社で0AB～J/050等の番号指定を受けるには、厳格な設備・接続・法令遵守・運用の各要件を満たす必要があります。

サービス制御機能を有する設備の設置

交換・ルーティング等を自社で制御できるコア設備の整備が必須。

第一種指定電気通信設備との網間信号接続

他事業者網との相互接続体制を構築し、相互運用性と品質を担保。

法令遵守・セキュリティ・通信の秘密保護

苦情処理、情報セキュリティ、監査等を含むコンプライアンス体制の整備。

高可用性・品質維持の運用能力

24時間365日の監視・障害対応、品質管理、キャパシティ計画。

指定取得のハードル（要約）



設備要件

サービス制御・相互接続



法令要件

通信の秘密・苦情処理



セキュリティ

体制・監査



運用能力

高可用性・品質維持

一般的なクラウドPBXベンダーは、番号指定の取得ではなく、番号非指定事業者として「番号使用計画の認定」を用い、キャリア提供の番号を利用するケースが多数です。

自社番号保有のメリット（比較表）

● VoiceX（自社番号保有）

● 一般的クラウドPBX（番号レンタル）

項目

VOICEX（自社番号保有）

一般的クラウドPBX（番号レンタル）

番号提供

**自社で発番・一元管理**

番号資産を自社で保有し、管理が迅速・確実。

優位

**外部キャリアからの提供に依存**

番号は借用。管理・変更は外部調整が前提。

障害対応

**切り分け～復旧を一気通貫**

回線/設備/アプリを自社内で迅速に対処。

**ベンダ/キャリア間調整が発生**

原因特定と復旧に時間を要する傾向。

品質管理

**ルーティング最適化が可能**

通話トラフィックを自社制御し品質を担保。

**他社の品質に依存**

回線品質は提供元の制御外となる。

コスト構造

**中間マージンなしで最適化**

コスト透明性が高く価格競争力を確保。

**レンタル費等が価格に転嫁**

原価に外部コストが上乗せされやすい。

収益構造

**回線収益を自社に蓄積**

サービス継続収益で投資・品質改善に再投資。

**通話料収益はキャリア側へ**

自社に残る収益が限定的になりやすい。

通話品質「クラスA」

総務省評価基準に基づく最高クラスの音質



最高評価「クラスA」を獲得

総務省の通話品質評価基準に基づく試験において、固定電話並みの音質である「クラスA」と評価されています。



高水準の通信品質を維持

ネットワーク混雑時においても、明瞭度・遅延・抑圧などの主要項目で高い水準を維持し、ビジネスに不可欠な安定通話を提供します。

無料トライアルで品質体験 導入前に実環境での品質検証が可能です。実際のオフィス環境でクリアな音質をお確かめいただけます。 実機検証可能

エビデンス情報

OFFICIAL SOURCE

VoiceX公式サイト

「音声品質」ページにて、総務省基準「クラスA」の取得を明記。

THIRD PARTY

ASPIC解説記事

クラウドサービス推進機構（ASPIC）の記事においても、VoiceXが高品質PBXとして紹介されています。

VERIFICATION LINKS



VoiceX 音声品質ページ



ASPIC記事



※「クラスA」は評価基準に基づく区分であり、実運用環境での品質はネットワーク条件に依存します。

30年以上の実績 × 300万番号発行の信頼



発行した電話番号（累計）
自社発表値（コムスクエア/VoiceX）

300万+

🕒 長年の実績と信頼性

1989年創業の歴史 30年以上にわたり電話・CTI分野のサービス/システムを展開し、通信インフラの進化と共に歩んできた実績。

総務大臣指定の電気通信番号事業者 事業者識別番号「0078」・特定IP電話番号「050」を保有する希少な事業者。

📠 自社開発・自社運用の強み

自社キャリアとして番号と回線を運用し、PBX（VoiceX）も自社開発・提供することで一貫した品質を担保。



主な保有番号リソース

特定IP電話番号

050

自社保有・提供

事業者識別番号

0078






着信者課金実績

🕒 コムスクエアの沿革（抜粋）

- 1989年
創業（電話・CTI領域）
- 2000年代～
050/0078番号の提供開始・拡充
- 現在
クラウドPBX「VoiceX」を
自社開発・運用

ユーザーにとっての実質的メリット

番号を自社で保有し、インフラからPBXまで 自社制御するVoiceXだからこそ提供できる価値。

-  **安定した通話品質**
自社で通話トラフィックとルーティングを制御（番号自社保有）
-  **コスト最適化**
中間マージンを最小化したシンプルで割安な料金設計
-  **迅速な障害対応**
キャリア×PBXの責任分界を内製化し、ワンストップで復旧
-  **セキュリティ／法令順守**
通信の秘密保護等の体制（電気通信事業法）
-  **拡張／カスタマイズ**
自社開発PBXならではの柔軟対応と将来拡張



VALUE PROPOSITION

VoiceXが担保する価値



品質

通話制御を自社最適化



コスト

中間レイヤー縮減



スピード

責任分界なく迅速復旧



信頼性

法令順守の運用体制

結論 番号の自社保有 = 品質・コスト・運用の主導権

拡大するクラウドPBX市場と固定電話の減少

国内 SaaS型PBX 市場規模

2023年 推計 (BOXIL)

3,754.9億円

↑ 拡大基調

世界 クラウドPBX 市場予測

1,445億USD

2037年 予測 (Research Nester)

国内クラウド関連市場 成長率

17.9%

CAGR (年平均成長率) 参考値

固定電話番号の減少

固定電話用 0AB~J番号

-153万番号

前年度比 約-2.8%

令和5年度末 5,386万

令和6年度末 5,233万

企業の電話インフラが、従来の固定電話からクラウドPBX (IP電話) へと急速にシフトしていることが要因。

国内SaaS型PBX市場は、働き方の多様化やDX推進により堅調に拡大中。
世界的にもクラウドPBXは高成長分野として位置づけられている。

まとめ — なぜVoiceXを選ぶべきか

番号を自社で保有し、インフラからPBXまで自社開発・自社運用する体制が、企業の通信環境に求められる「品質・運用・コスト」の総合力を支えます。



番号自社保有 × 自社開発

0AB~J/050等の番号運用とPBXを一体で提供する希少なキャリア



クラスA 通話品質

総務省基準に基づく評価で固定電話並みの音質を実証



コスト効率 と迅速対応

中間レイヤー最小化で最適コスト・ワンストップ復旧を実現



30年以上の 実績

1989年創業・300万超の番号発行実績で信頼性を担保



成長市場での 差別化

番号保有×自社開発×キャリアの三位一体で他社を圧倒

CONCLUSION



通信の根幹（番号・ネットワーク・PBX）を自社でコントロールできるVoiceXは、クラウドPBXの導入で最も重視すべき「品質・運用・コスト」のバランスに優れています。